

コロンビア

主要データ

国名〔英名〕	コロンビア共和国〔Republic of Colombia〕
面積(km ²)	1,138,914
海岸線延長(km)	3,208
人口(百万人)	45.0
人口密度(人/km ²)	39.5
GDP(百万 US\$)	228,836
一人当たり GDP(US\$)	5,087
主要鉱産物：鉱石	ニッケル、金
主要鉱産物：地金	ニッケル
鉱業管轄官庁	エネルギー鉱山省(Ministerio de Minas y Energia)
鉱業関連政府機関	鉱山地質研究所(INGEOMINAS)
鉱業法	鉱業法(法律 685 号、2001 年)、2010 年 2 月に一部改正
外資法	コロンビアにおける投資家のための法的安定に関する法律(法律 963 号、2005 年)
環境規制法(環境影響評価制度、環境・排出基準の有無等)	環境法(法律 99 号、1993 年)
鉱業公社	—
近年の鉱業関連問題(資源ナショナリズム、労働争議、環境問題等)	南アの Anglo Gold Ashanti 社が Tolima 県で進める La Colosa 金プロジェクトが、自然保護区域内で解除認可を受けずに探鉱活動を行ったとして Tolima 県自治体が探鉱活動の中止を命令
2009 年のトピックス	コロンビア議会が 2009 年 6 月に鉱業法の一部を改正する法律(法律 1382 号)案を承認、2010 年 2 月 9 日にウリベ大統領が批准承認し公布

1. 鉱業一般概況

コロンビアは、石炭、石油等エネルギー資源のほか、ニッケルをはじめとする金、銀、銅等の非鉄鉱物資源の賦存が知られている。

ニッケルは、同国北部の Cordoba 地域に位置する Cerro Matoso 鉱山(BHP Billiton)で生産され、フェロニッケルとして輸出されている。2009 年のコロンビアにおけるニッケルの生産量は 51.8 千 t で、2008 年に比べ数量で約 10 万 t、25%増加した。ニッケルはフェロニッケルとして全量の 169.6 千 t がイタリア、スペインなどに輸出された。

金については、その多くが同国北西部の Antioquia 地域での小規模事業者による採掘で、2009 年の金の生産量は 41.0t であった。

鉱業環境としての治安状況は、政府の麻薬・テロ対策、警備強化により、石炭やフェロニッケルを生産する北部地方は治安状況もよく、能率的な鉱業活動が行われている。しかし、南部国境地帯やア

マゾン森林地帯では非合法武装集団が依然活動しており、また、コカの栽培地域であることから、鉱業開発の前提となる探査活動が制限されている。コロンビアのアンデス山系は、ベースメタル資源のポテンシャルが高いと推定され、今後、更に治安状況が改善されれば、金属資源開発が活発になる可能性が高い。

また、外国企業の株式取引を規定した第 3886 法を政府が公布したことから、コロンビア証券市場に参入する外国企業が増加することが見込まれている。

2. 鉱業政策の主な動き

コロンビア議会が 2009 年 6 月に法案を承認、2010 年 2 月 9 日にウリベ大統領が批准・承認し、2001 年に制定された鉱業法の一部を改正する法律(法律 1382 号)が施行された。

本改正法には、政府による鉱区管理の強化、探鉱期間、鉱区有効期間の変更、小規模・零細鉱業者の合法化、国立公園や保護区、ラムサール条約で指定された湿地帯、標高 3,200m 以上の地域などでの鉱業活動に対する鉱業ライセンスの取得禁止などが規定されている。

なお、同法第 30 条では、60 馬力の小型採掘船を用いた小規模鉱業地帯に対して、政府は同鉱業活動の実施を保護し、合法化までに 2 年間の猶予を与えるとしているが、ウリベ大統領は、当初、同条文に反対する姿勢を示していたものの反対を撤回して承認した。

3. 主要鉱産物の生産・輸入・消費・輸出動向

(1) 主要非鉄金属鉱石生産量

表 1. コロンビア共和国：金属鉱石生産量

鉱種	2007 年	2008 年	2009 年	2009 年増減比(%)
ニッケル(千 t)	49.3	41.6	51.8	24.5
金(t)	15.5	34.3	41.0	19.5
銀(t)	9.8	9.2	9.4	2.2

(出典： Word Metal Statistics Yearbook 2010)

(2) 主要非鉄金属地金生産量

表 2. コロンビア共和国：金属地金生産量

(単位：Ni 純分千 t)

鉱種	2007 年	2008 年	2009 年	2009 年増減比(%)
フェロニッケル	49.3	41.6	51.8	24.5

(出典： Word Metal Statistics Yearbook 2010)

(3) 主要非鉄金属消費量

表 3. コロンビア共和国：金属地金消費量

(単位：千 t)

鉱種	2007 年	2008 年	2009 年	2009 年増減比(%)
錫	0.5	0.5	0.4	-20.0

(出典： Word Metal Statistics Yearbook 2010)

(4) 主要非鉄金属輸出力

表 4. コロンビア共和国：フェロニッケル輸出力

(単位：千 t)

鉱種	2007 年	2008 年	2009 年	2009 年増減比(%)	主な輸出相手国
フェロニッケル	135.1	111.6	169.6	52.0	イタリア、スペイン

(出典： Word Metal Statistics Yearbook 2010)

(5) 主要非鉄金属輸入量

データなし

4. 鉱山・製錬所状況

Cerro Matoso 鉱山は、コロンビア北部の Cordoba 地域に位置し、BHP Billiton が操業する同国唯一のニッケル鉱山で、フェロニッケルとしてイタリア、スペイン等に全量が輸出されている。

表 5. 鉱山一覧

(2009 年生産量、単位：千 t)

鉱山名	権益所有企業(権益：%)	鉱種	生産量
Cerro Matoso	BHP Billiton	ニッケル	51.8

(出典： Word Metal Statistics Yearbook 2010)

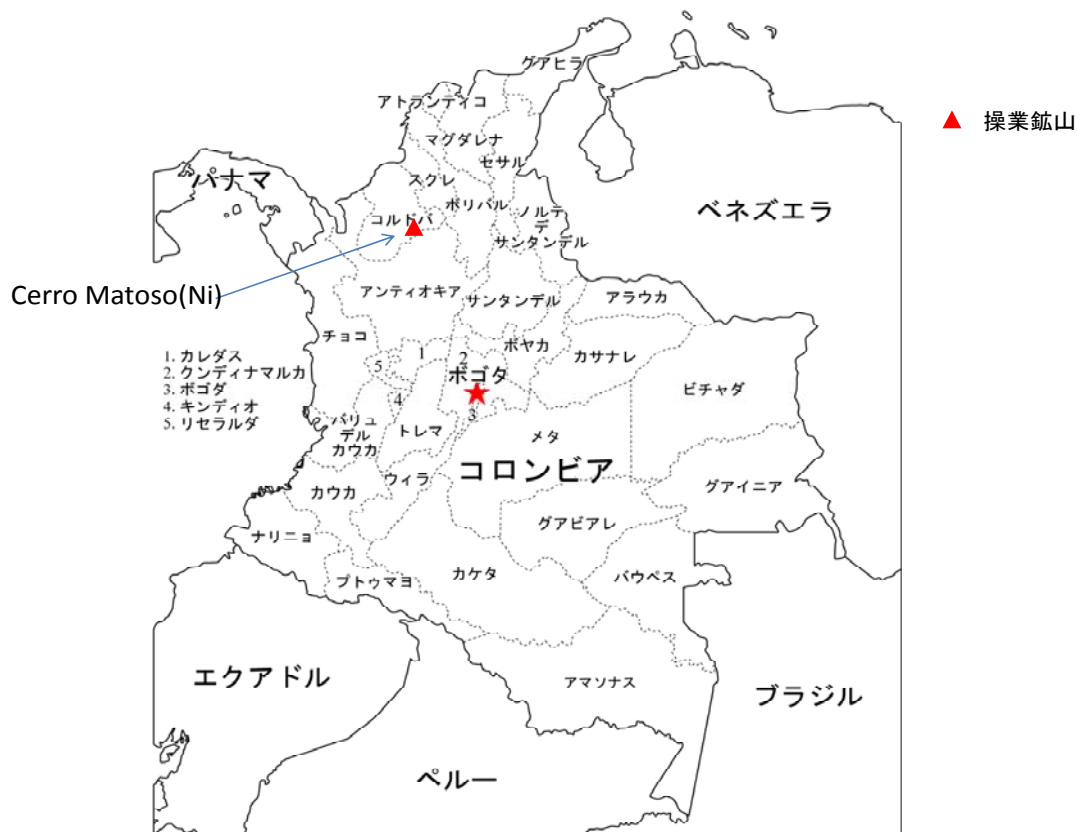


図 1. コロンビアの主要鉱山位置図

5. 探鉱状況

(1) La Colosa

Anglo Gold Ashanti 社(南ア)による金の探鉱プロジェクトで、Tolima 県内、ボゴタの西方 150km に

位置する。同社は 2015 年頃の操業開始を目標としており、年間 700 千 oz (約 22t) の金の生産が見込まれている。

ただし、本プロジェクトに関しては、2008 年に自然保護区内で解除の認可を受けずに探鉱活動を実施したとして地元 Tolima 県から探鉱中止命令が発せられ、探鉱活動の中断を余儀なくされた。また、その後も水不足を理由に探鉱活動が認められない状況となっている。

鉱量：381 百万 t

品位：金 1g/t

(2) Angostura

Greystar Resources 社 (加) による金の探鉱プロジェクトで、Santander 県に位置する。現在 FS が実施されており、2009 年 12 月に EIA (環境影響評価書) が提出された。2010 年 2 月に鉱業法の一部が改正されたため、環境・住宅・国土開発省は 2010 年 4 月に同社に対して EIA の再提出を求めたが、新たな EIA 作成は時間的・経費的に多大なロスを招くこと、また、EIA 提出時には新たな鉱業法が施行される前であったことなどから異議を申し立て、結局、環境・住宅・国土開発省は提出済みの EIA を改めて審査することとなった。

同社によると、本プロジェクトはコロンビア初の露天掘り金鉱山となり、年間 511 千 oz (約 16t) の金と 2,300 千 oz (約 72t) の銀を 15 年以上にわたって生産することが見込まれている。

鉱量：403 百万 t

品位：金 0.965g/t、銀 5.927g/t

6. 我が国との関係

フェロニッケルについては、2009 年の総輸入量 27.2 千 t に対して 4.3 千 t と割合で 16%、ニューカレドニア (79%) に次ぐ輸入先となっている。

表 6. コロンビア共和国の日本へのフェロニッケル輸出量

(単位：千 t)

鉱種	2007 年	2008 年	2009 年	2009 年増減比 (%)
フェロニッケル	8.8	7.2	4.3	-40.3

(出典：財務省貿易統計)

7. その他トピックス

2010 年 5 月 30 日にウリベ大統領の任期満了に伴う大統領選挙が行われ、6 月 20 日の決選投票を経て、親米右派のウリベ大統領後継のサントス前国防大臣が新しい大統領に選出された。

(リマ事務所 山内英生)